

物価高騰対策など 3億4500万円を追加補正



プレミアム商品券発行に
1億9600万円

水道料金減額へ
5100万円

国の物価高騰対策を受け、補正予算案2件を可決

プレミアム商品券の発行、市民生活に直結する水道料金対策に加え、燃油高対策として公共交通機関への支援、介護福祉施設への支援が主な内容となった。



4月18日
発売予定の
プレミアム商品券

令和8年第一回臨時議会は1月19日に行い、令和7年度一般会計補正予算案など2件を原案通り可決しました。

補正予算は、歳入歳出にそれぞれ3億4590万円を追加し、総額を190億4277万円としました。

歳入は、国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金などに加え、財政調整基金から2349万円を繰り入れました。

歳出は、市内消費拡大支援事業

に1億9600万円、水道料金支援事業に5112万円、本市出身学生支援事業に500万円など、計13の物価高騰対策事業に配分されます。

このうち、市内消費拡大支援事業は、プレミアム商品券発行に係る費用で、発行団体である陸前高田商工会に全額補助します。水道料金については、令和8年3月から1年間基本料金を500円減免するものです。

物価高により生活環境に大きな影響を受けていると見られる本市出身の大学生や専門学校生には、本市とのつながりを再認識してもらいながら安心して学生生活を送れるよう支援します。

議員からは想定する学生数や連絡手段などについて質問。当局は市内卒業生のデータなどから300人程度と把握しており、「市HPやSNSのほか、あらゆる手法で周知に努めていく」との答弁がありました。

議会と語る会

陸前高田市議会は、1月20日、「議会と語る会」を開催しました。今回は市役所6階にある市議会の本会議場を会場に今後開催していく市民の方々の懇談の場の初回として実施しました。対象は市内11地区のコミュニティ推進協議会とし、役員など20人に参加いただきました。



初開催

議場を会場にコミセン役員との意見交換会

参加者からは、人口減少や高齢化に伴う自治会運営の担い手不足かさ上げ地の雑草問題、小学校の適正規模化などについて意見が出されました。また、議会だよりについても意見が寄せられ、「過去の語る会で出された意見が紙面で十分に紹介されていない」との指摘がありました。これに対し、福田利喜議員は「議会だよりは編集小委員長は「議会だよりは詰め込みすぎず、読みやすい紙面づくりを目指し



る会で出された意見が紙面で十分に紹介されていない」との指摘がありました。これに対し、福田利喜議員は「議会だよりは編集小委員長は「議会だよりは詰め込みすぎず、読みやすい紙面づくりを目指し

ている。議会だより以外の方法でも市民と共有できる仕組みを検討していきたい」と回答しました。今回の語る会は、各地区が抱える課題を全体で共有する機会となりました。市議会では、今後市内のこともたちによる模擬議会「こども議会」など、さまざまな年代の方々を対象に、本会議場を活用した語る会を企画していきたいと考えています。



参加者全員で記念撮影